

平成二十四年度

修士論文・卒業論文題目

大学院文学研究科

〈歴史学専攻〉

瀧井 直子 東南アジアのイスラーム化に関する一考察―パタニ王国を事例として―

として―

田中 真悟 室町・戦国期荘園における請負代官制の研究―和泉国日根野荘を題材として―

を題材として―

中西 秀樹 九州征伐における城郭政策―「黒田家文書」「黒田家譜」を元に―

に―

〈文化財学専攻〉

衛藤 美紀 東九州における細石刃文化期の編年研究―船野型を中心に―

奥 彩香 天領日田における城と城下町の形成及び展開

竹村 雄太 系図と祖先祭祀に関する研究―大分を中心として―

田中 暁 方墳造営からみる地域の支配と動向―終末期古墳を中心として―

馬場 晶平

甕棺文化圏における階層化の構造的検討―甕棺法量を中心に―

史学・文化財学科

愛下このみ 幕末と明治における天王象について

秋吉かなえ 統帥権干犯問題堀悌吉の動向

荒牧 瑞穂 金属製裝飾品の構造・材質・製作技法の調査―古墳時代の耳環について―

有村 頼政 長崎県原城跡から出土した鉛玉の産地推定

板井 幸弘 江戸時代の墓と葬制―大分県近世墓研究―

今村 祐太 アンコールワットとバライ

上野 佑 インドネシア独立と日本軍政

上水樽佑佳 軍記物語から見る刀剣 打物機能と系譜

梅木 実香 西洋魔術 火のイメージと実態

江口 悦正 黒田親子孝高と長政

川上恵利子 天狗の民族学彦山豊前坊について

大峠 孝雄 古代出雲遺物と神話からの考察

緒方 一斗 蒙古襲来絵詞の成立事情について

て

甲斐 咲彩 加藤清正の生涯について

甲斐 瑞萌 頼山陽について

梶野 皇成 江戸時代における大分県の城と城下町について

加世田悠仁 石見銀山で銀精錬に使われた鉛の産地測定

川野 修紀 日本と東南アジアの関係―南進論とからゆきさん―

来住 進牙 沖田総司と新撰組 小説から見る評価の変遷

北原 美希 日本における境界―神域とその境界表示―

木野 良輔 富貴寺大堂の歴史的意義と建築的特徴

金 正済 日本中世の殺生禁断と放生に関する研究 インド仏教の不殺生意識からの展開

國吉ゆりあ 琉球における土族について 門中制度を中心に

倉田もも子 鎌倉草創期における「文士」の活動

黒岩 凌太 朝鮮との交流

兒玉 尚子 中世地域社会における郡中惣の機能甲賀郡中惣を中心に

齋藤 公希	天保期以降のかわら増加と幕府の出版統制の関係について	津曲 祐敬	反射炉と近代化について	林 和宏	朝鮮貿易と東南アジア
齋藤 幸宏	岡藩と天下普請	堂園 琢人	ディエンピエフー要塞攻防戦	林 俊希	レコンキスタの経過とイベリア半島の文化形成
佐伯 星一	新鮮組隊内における肅清と京における警備活動	徳丸 達也	中国・フランスがベトナムに与えた影響と独立	林田慎太郎	インドネシアのイスラム教育について
酒井希世美	国東半島の石造仁王像について	中路 幸佑	東南アジアにおける日本人町	久野 真崇	得宗専制政治の確立期について
	石工たちの活動状況からその造立の謎を探る	永松 翔平	棚田の歴史と保全の研究 うきは市の浮羽町の葛籠棚田を中心として	平谷 明広	アメリカ大陸に至り達する以前のコロンビアについて
坂田 奈穂	補陀落渡海―その形態と変化―	中山 優子	日本人と色 色彩感覚とその社会的背景	藤崎 美奈	近代の庭園と公園
佐藤 貴賢	江戸の上水について	中山 雄也	白杵石仏の様式的特徴と造立の背景	藤本 壮範	ムガル帝国の繁栄とタージマハル
佐藤 光	考古学から見る日本と大分の災害史	西 奈都美	民話と地域性―瓜生島について―	船ヶ山 岬	地下式横穴墓の諸要素からみた墓葬の特徴
佐藤 里恵	中世大友遺跡から出土した 華南三杉等陶磁器釉薬の鉛同位体比	西村 美紗	本能寺の変について	布野 航平	石田光成について
紫藤 芙美	7世紀の筑紫・豊前・豊後における集落と建物群について	布田 祐紀	関ヶ原の諸動向（豊後石垣原を中心に）	白 種仁	第1次朝鮮教育令からみる朝鮮総督府官報
園田 真士	妖怪誕生―その要因と展開について―	萩原 昌樹	西南戦争に使われた小銃弾の産地指定	本多 成同	西南戦争における軍夫募集の実態
竹田 将也	江戸の外食産業	橋口 貴憲	古墳時代の宇城天草における天草式製塩土器について	松尾 芽依	博物館における環境調査―空気が汚染と劣化要因について―
田中 秀典	蜀漢政権における諸葛亮・蔣琬の治世について	服部さとみ	中世大友の豊後府内から出土したコンタ鉛同位体比	松田 侑子	銅戈にみる文様の基礎的検討―綾杉文から具象文まで―
田橋 輝之	江戸時代の貨幣	濱田耕太郎	時代における妖怪像 変化するイメージ	松村 和	概念から見た紀州雑賀衆について
津波古彩乃	沖繩のシャーマンの生涯 ユタとノロの生活に迫る			松山 駿作	国東塔の成立・隆盛からの衰退

- 三重野祥文 蛍光X線分析からわかる絵画  
村上 耀多 古墳時代における石室の変遷  
森満 勝幸 幕末の薩摩藩について  
山崎 潤也 おおいた妖怪集成大分県の妖怪  
譚その伝播状況―  
山田 大倉 アンコール王朝 王の姿  
山本 圭祐 埴輪から見る古代服装の研究  
山本 智弘 豊後府内出土中世瓦の分類と変遷について  
湯面 大輔 文化的景観の成立と展開―田染荘と湯けむり景観からみた文化的景観の位置付け―  
和田 旭史 サンディエゴ号から出土して青銅製品の鉛同位体比分析  
渡邊 仁章 老子について  
渡邊 麻由 江戸吉原  
河野 実里 不動明王のかたち ―色・形・表情について―  
佐藤 千聡 日本文化における化粧 ―その歴史と意識―  
田中 一絵 陰陽師と呪術 ―その歴史と現代における意味―  
坪根沙也歌 仏師湛慶について ―その生涯と作風の変遷―  
永田 真紀 お守り ―守護の願いが込められたもの―  
長野聡一郎 炭坑のくらし ―筑豊炭田を中心に―  
秦 浩章 大分の磨崖仏の図像学的比較研究  
樋口なつみ 観光イメージの確立 ―大分県日田市「天領」を事例に―  
廣瀬 茜 郷土の食文化 ―福岡県田川市・赤村を事例として―  
福田健一郎 仏教における輪廻思想について  
松田梨愛果 廃仏毀釈運動の展開 ―明治維新期にみる神仏物離と廃仏毀釈について―  
森尾 真悟 出雲神話 ―現代も親しまれる出雲の二柱神―  
安恒 茜 郷土料理 ―福岡県旧浮羽郡を事例に―  
山本 弘能 資料としての浮世絵 ―江戸の年中行事・生活―  
吉井功太郎 日本の弓 ―その歴史と文化―